



さかもと なおみつ
坂本 直充

昭和29年11月17日生

水俣市幸町在住

■ 略歴

昭和29年（1954年）水俣市丸島町に生まれる。4人兄弟の4番目。
1つ上の兄は1週間で亡くなっている。

幼少時、病院から小児マヒという診断を受ける。小学校から高校まで、地元の学校に進学し、福岡の大学を卒業後、水俣市役所に入庁する。

2014年に退職するまでの34年間は、福祉課、市立図書館館長、水俣病資料館館長などの職務のなかで、多くの水俣病患者さんたちと積極的に対話を進め、2013年4月、詩集を出版する。退職後も、詩人として活動している。

■ 職業

詩人 著書：光り海 坂本直充詩集

■ 主な伝える内容

幼少時に小児麻痺という診断を受けたが、父親がチッソ水俣工場に勤務していたことから、水俣病を引き受けることのできない自身の葛藤と、多くの水俣病患者さんやご家族との交流を通して、困難の中から生きる希望を生み出していく人間の可能性を自らの思いで伝えていく。

・私は、世界中の若者が水俣を訪れ、胎児性水俣病患者らと出会いを刻んで、いのちを守る若者に育ってほしいと思うのです。